

【オリコンサルら 水素のみで動くショベルを開発】

水素のみで動く
ショベルを開発

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツ、フラットフィールド（神奈川県厚木市、平野智一代表取締役）、東京都市大学、金沢工業大学は、環境省の「令和6年度水素内燃機関活用による重量車等脱炭素化実証事業」の一環でプロジェクトを組み、水素燃料のみで動くエンジンを搭載した油圧ショベルを開発した。1月には現場実証も行った。

住友建機製の20トクラスの油圧ショベルをベースに、ディーゼルエンジンを水素専焼エンジンへ改造し、ピストンやシリンダーヘッドも水素用に交換した。

実証に当たっては、建機本体を提供した住友建機、住友重機械工業が技術的にサポートした。現場では、水素専焼エンジンショベルの動作・性能を検証し、作業に当たって大きな問題がないことを確認した。